

2019年10月5日(土)

第1会場					
時間	区分/テーマ	演題	演者	座長	専門医機構 領域講習受講単位
11:45~	レジストレーション				
12:55~13:00	開会の辞		塩谷雅英 (英ウィメンズクリニック)		
13:00~13:10	学術集会会長挨拶	Seek for quality ART	蔵本武志 (蔵本ウィメンズクリニック)		
13:10~13:50	シンポジウム1 「ARTを行うための理想的な培養液とは」	体外培養着床前胚の発生に及ぼす脱イオン化血清アルブミンの効果	山田雅保 (株式会社 日本医化器械製作所)	福田愛作 (IVF大阪クリニック)	
		ARTと培養液:培養は安全ではない	村上正夫 (蔵本ウィメンズクリニック)	三谷 匡 (近畿大学)	
13:50~14:20	ART Basic Lecture	生殖研究から探る生命の「始まり」と「終わり」	宮戸健二 (国立成育医療研究センター)	山内伸彦 (九州大学)	
14:20~14:40	Coffee break				
14:40~15:10	生殖再生医療の進歩と今後の発展	ヒト生殖細胞試験管内誘導研究の現状と展望	斎藤通紀 (京都大学)	柴原浩章 (兵庫医科大学)	○
15:10~15:40		生殖細胞誘導システムを構築するための動物細胞を用いた前術的研究	林 克彦 (九州大学)	田中 温 (セントマザー産婦人科医院)	
15:40~16:00	Coffee break				
16:00~18:00	日本臨床エンブリオロジスト学会 「よくわかる! 精巣内精子(細胞)の採取と選別 ~工夫、コツ、こだわり~」	患者適応および精細管の状態からTESEの精細管処理を考える	水田真平 (リプロダクションクリニック大阪)	沖津 撰 (三宅医院)	
		当院におけるMD-TESEおよびROSIの実際	竹本洋一 (セントマザー産婦人科医院)	上野 智 (加藤レディスクリニック)	
		つじクリニックのTESE:精子回収予測と精子処理の実際	成吉昌一 (天神つじクリニック)		
		顕微授精の成功率を上げるために ~実験動物における顕微授精の視点から~	越後貫成美 (理化学研究所)		
18:30~20:30	懇親会	ホテル日航福岡「都久志の間」~九州各地の名物料理をご堪能ください~			

第2会場		
時間	区分/テーマ/演者	座長
13:30~16:30	口頭演題発表	

2019年10月6日(日)

第1会場					
時間	区分/テーマ	演題	演者	座長	専門医機構 領域講習受講単位
9:00~9:30	我が国の生殖医療の課題と今後の方向性	着床前遺伝子診断の日産婦産科臨床研究の方向性	苛原 稔 (徳島大学)	楳原久司 (大分大学)	○
9:30~10:00		生殖医療の未来を考える ー生殖医学の進歩の中でー	吉村泰典 (内閣官房参与/慶應義塾大学 名誉教授/福島県立医科大学 副学長)	加藤聖子 (九州大学)	
10:00~10:20	Coffee break				
10:20~11:00	反復着床不全への対応(同時通訳)	The maternal factor in the embryonic implantation process: the microbiome and endometrial receptivity	Carlos Simón (the University of Valencia)	杉野法広 (山口大学)	○
11:00~11:30		Time-lapse technology to improve the chances for poor-prognosis patients	Markus Montag (ilabcomm GmbH)	向田哲規 (広島HARTクリニック)	
11:40~12:40	ランチョン セミナー	新時代のARTはどこへ向かうのか?	石原 理 (埼玉医科大学)	宮本新吾 (福岡大学)	○
12:40~13:00	Coffee break				
13:00~13:30	年次総会および優秀演題表彰				
13:30~14:00	オーストラリア生殖医学会 交換講演 (同時通訳)	Polarised light microscopy of Meiotic Spindles in ICSI	Michael Chapman (FSA President)	森本義晴 (HORACグランフロント大阪クリニック)	
14:00~14:30	がん生殖医療	がん・生殖医療の今後の展望	鈴木 直 (聖マリアンナ医科大学)	牛嶋公生 (久留米大学)	
14:30~14:50	Coffee break				
14:50~15:55	シンポジウム2 ARTを受ける現代女性が抱える問題点とその解決策 ①働く女性のための解決策 ②卵巣予備能低下(DOR)に対する解決策	Random start ovarian stimulation の新しい展開 ~medical indicationからsocial indicationへ~	藤原敏博 (フェニックス アート クリニック)	詠田由美 (アイブイエフ詠田クリニック)	○
		クロミフェン低刺激周期での診療の工夫 ~個々の症例に対してどう対応していくか~	加藤恵一 (加藤レディスクリニック)	松田和洋 (松田ウィメンズクリニック)	
		卵巣予備能低下症例に対する回収卵子数を増やす工夫	杉山カキ (杉山産婦人科)		
15:55~16:00	閉会の辞/次期会長挨拶		向田哲規 (広島HARTクリニック)		

第2会場		
時間	区分/テーマ/演者	座長
9:00~10:30	口頭演題発表	